

北上市では約5万人の方が働いており、その中には女性も県外から来た人も育児や介護をする人などがいて多様なライフスタイルを送っています。

この「なりわい事例集」では、

働く人の多様な視点から見た企業の魅力や働く人が輝く職場づくり  
などについてインタビューしています。



なりわい事例集 vol.8

# 株式会社タクミ電機工業

新卒でも安心して新生活をスタートできる  
— 働く環境の充実サポート —

2006年秋田県大館市で設立。電気設備工事に加え、太陽光発電システムや日本初となる超小型木質バイオマス発電システムなどもいち早く手掛け、2020年に北上営業所を設立。従業員75名の平均年齢は30歳と若手が活躍する企業です。

<https://takumi-denki.com/>

所在地：岩手県北上市和賀町長沼5地割391（北上営業所）

# 新卒でも安心して新生活をスタートできる

— 働く環境の充実サポート —

#電気工事士

#住宅用太陽光発電システム

#バイオマス発電システム

#タクミ飯

#半人前研修

#ひとり暮らしサポート

#テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機を新品で提供

#タクミ電機アカデミー



てるい はやと  
照井 隼(20)

勤続2年/電気工事士/  
秋田県出身

工業高校の電気科出身で電気工事士の資格も取っていたので、それを活かせる仕事に就きたいと思っていました。学校で株式会社タクミ電機工業のパンフレットを見て、電気工事の仕事だけでなく住宅用の太陽光発電システムやバイオマス発電システムといった今の時代に合った取り組みもしていたので興味を持ったのがきっかけです。今は工場の火災報知器の点検や動作作業を担当していますが、住宅用の太陽光発電システムの施工や超小型木質バイオマス発電システムなども担当する機会をいただき、1年目から京都や立川、那須、山形などの現場にも行かせてもらえました。

秋田県に本社や営業所もあるので、最初は秋田で働こうと思っていたのですが、北上営業所は同期が多く入社すると知って興味がわいたのと、職場近くのアパートを利用できて働きやすそうだったんです。ひとり暮らしに憧れもありましたし、アパートも新しくて、いろいろな補助やすぐに暮らせるように新しい家電が



揃っている点も魅力でした。電気工事士の仕事は3K（きつい・汚い・危険）と言われていて、そういう面も確かにあるのですが、それ以上に自分が任せられた仕事が完成できたときの達成感が大きいですし、すごくやりがいがある仕事で楽しく働いています。

◀ 会社の倉庫に蛍光灯を設置する照井さん。



太陽光発電などは現場に行ってみないと状況がわからないし、急な変更も多くて、臨機応変な対応が求められるんですよ。上司や先輩のみなさんはそういうことにも柔軟に対応できるんですけど、自分はまだまだ融通が利かないというか経験がないので、イレギュラーなことが起きたときの対応が難しくて……。そこが大変なところで、自分も早く上司や先輩たちのように柔軟に対応できるようになりたいと思っています。

実際に働いてみると同期以外も年齢が近い人が多くて、同期とか先輩とか関係なくみんなでご飯に行ったりするくらい仲がいいです。

株式会社タクミ電機工業は「若いからやらせない」ではなく、若いときからいろいろな現場の経験が積めるところが魅力です。それに自分は秋田から来て2年目ですが、ひとり暮らし向けのサポートも充実しているので、県外から来た人も暮らしやすいのも良いところだと思います。

さとう しょうむ  
佐藤 翔夢(22)

勤続2年/人事・採用・広報



照井は仕事に対する熱量が高く、責任感も強くて、すごくがんばって働いていると上司の方がおっしゃっていました。私は照井と同期なのですが、同じ仲間が現場で活躍しているという話を聞くと、自分もうれしいです。ゆくゆくは現場を任せられる人になって、どんどん前線で活躍して行ってほしいと思います。

弊社では新卒の方を対象に「ひとり暮らしサポート」という支援を行っています。県外から来られる方には、弊社が持っている新しいアパートに入らせていただくのですが、初期費用などは会社負担ですし、家賃も半額以上補助します。それに新しい生活をスタートさせるとなると家電の準備にもお金がすごくかかりますが、弊社では生活に必要なテレビ・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機を新品で提供しているので、県外から来られる方も挑戦しやすい環境が整っていると思います。



▲佐藤さんがつくった若手社員を紹介するリーフ。「やらかしエピソード」には社員みんなが共感。

働きやすい職場づくりの取組みとして同期や同僚と食事をする際の会食費を補助する「タクミ飯」という制度もあります。食事をしながら打ち合わせをするだけでなく、楽しく飲んだり食べたりしながら同期や同僚と交流を深める機会を増やすことで、リフレッシュしたり、さらにみんなと仲良くなって働きやすい環境づくりにつながればと思って取り組んでいますが、社員にも好評で、私もよく利用します（笑）

弊社では資格取得に関わる費用をすべて負担したり、必要な教材を提供したりする「タクミ電機アカデミー」という制度があります。また、内定者オンライン交流会や内定者宿泊研修、新入社員研修に加え入社1年目を対象に定期的に面談を行って不安や不満の解消に努めたり、入社半年後には「半人前研修」というのも実施して、同期みんなが集まって仕事に向き合う姿勢を学んだり、がんばっている他の仲間の刺激を受けたりしながら、一緒に成長できる機会も設けています。

また、採用活動では「こういう人が人事で働いているから安心できる」と思ってもらえるような「コミュニケーション」を大事にしています。学生の方とWebで話すこともありますが、それよりも直接会ってお話した方が、私たち人事担当の人柄が伝わりますし、私たちが直接話すことで会社の雰囲気も伝わりやすいと感じています。

私は、友達に参加するからなんとなく参加した株式会社タクミ電機工業のインターンシップで今の上司と出会い、仕事内容というよりは「この人とだったら一緒に楽しく働いていける」と強く思ったんです。私は入社するまで、人とコミュニケーションを取るのが本当に苦手でした(笑) ですから就職活動も積極的になれないところがあったのですが、今の上司はそんなことがまったくなくて、年齢が離れていると話題が合わなくて話が盛り上がらないのが普通だと思うんですけど、私の話を上手に引き出してくれるんです。本当にすごいと思いました(笑)



▲株式会社タクミ電機工業では電気工事から再生可能エネルギー事業まで幅広く展開

入社する前は本当に、初対面の人とは会話のキャッチボールすらできなかつたんですよ。実際、私が担当している採用活動でもコミュニケーションがとても重要ですが、その仕事を楽しめているのは自分自身が上司とのコミュニケーションによって変わったからだと思います。

上司と比べたらコミュ力はまだまだ足りないなので、これからもコミュ力を磨いて、大学生はもちろん専門学校生や高校生とも友達感覚で話せるような人事になりたいですね。それと自分は広報の担当もしていて、昨年からSNSを活用して会社の雰囲気や魅力が伝わる情報発信に取り組んでいるので、SNSを通して全国からいろいろな人財に来ていただけるようにがんばっていきたいと思います。